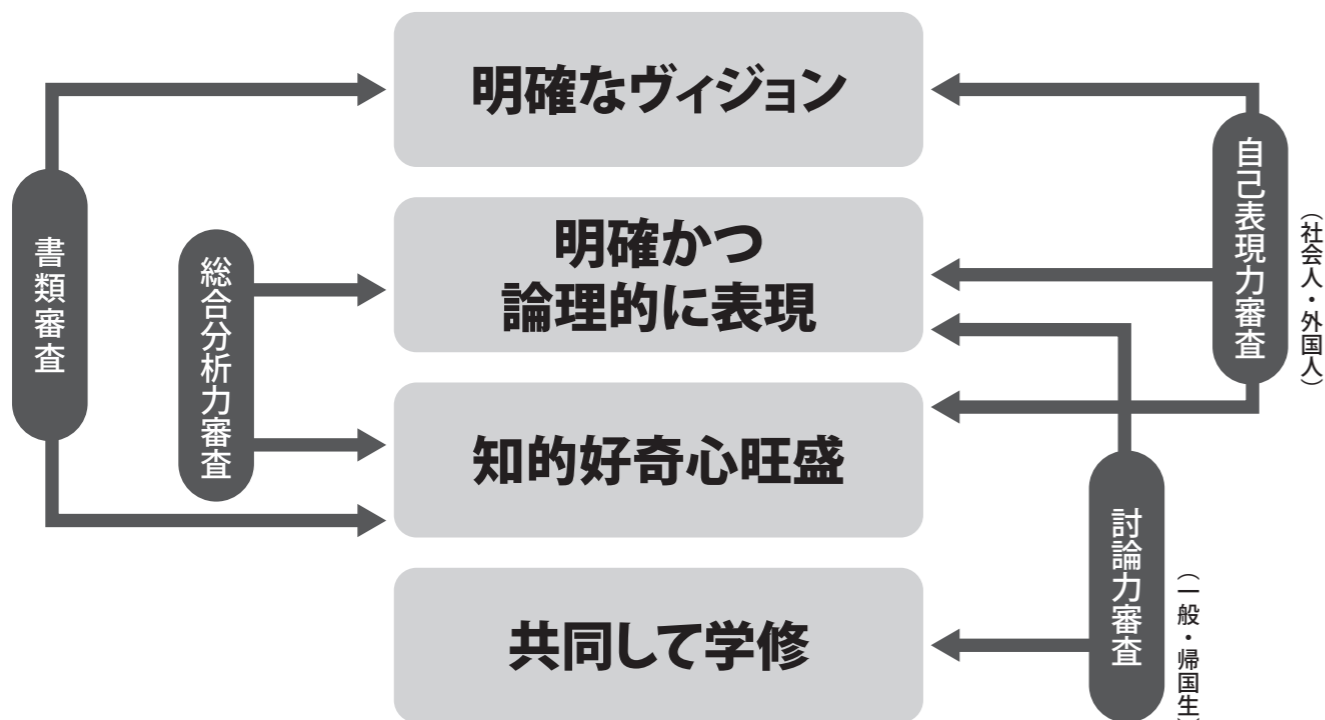


経営学部が求める学生像

経営学部のAOマルデス入試では、ゼミ(演習)において牽引的な役割を果たすとともに、何事にも積極的に取り組み、ゼミ全体を活性化させるような学生を求めています。以下の条件を満たす優れた人材が多数集まることを期待します。

ゼミを引っ張る学生には次のような資質が求められます。

- 1 自分の将来に関して、**明確なヴィジョン**をもっている、または自分の将来を真剣に見つめている。
- 2 自分の意見や考えを**明確かつ論理的に表現**できる。(言葉で述べることおよび文章で表現することの両方を含みます。)
- 3 **知的好奇心が旺盛**で、わからないこと、理解できないことを放置せずに、納得がいくまで自分で調べたり質問したりする。
- 4 他人の意見を尊重し、**共同して学修**することに積極的に取り組める。



審査

[経営学部] 一次審査 全員共通

審査	対象の書類	配点	内容
書類審査	調査書	50	高等学校等の発行した調査書を厳封のまま同封してください。
	志望理由書		あなたの将来の夢や将来就きたい職業等を踏まえて、成蹊大学経営学部の志望理由について、本学所定の書式に記入してください。
	活動報告書		以下の3点について本学所定の書式に具体的に記入してください。 1. 学術・芸術・スポーツ等の課外活動、生徒会活動、地域活動、ボランティア活動等。 2. 次の検定試験、資格試験の合格実績やスコア。実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定試験、GTEC、TEAP、日商ビジネス英語検定、全商英語検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定、ITパスポート試験、情報検定、歴史能力検定、日商簿記検定、その他の検定・資格試験等。 3. 自分の得意なこと、自分の長所等。
	課題レポート	50	6月5日(金)に本学ホームページで発表される課題テーマについて、1200字程度のレポートを作成し、本学所定の書式に記入してください。なお、テーマの発表方法の詳細については、P.20を参照してください。

検定結果や資格、優れた成果を証明する資料(コピー可)を出願の際に同封してください。

この課題テーマが、討論力審査(二次審査)の際のグループ討論のテーマになります。しっかりと自分の意見をまとめておきましょう。

[経営学部] 二次審査……11月14日(土) ※集合時間・場所等は、一次審査合格者発表の際に郵送でお知らせします。

一般・帰国生

審査	内容
総合分析力審査	[10:00-11:30 試験時間90分] 配付された資料(和文・英文の文章や図表等)をもとに記述式の試験を行います。資料を正確に分析・理解し、それをもとに表現する力を審査します。
討論力審査	課題レポートのテーマについて、少人数で討論してもらいます。明確かつ論理的に表現する力を審査します。

出題形式については、P.21以降を参照してください。

討論力審査には、メモや資料などを持ち込むことができます。

社会人・外国人

総合分析力審査	[10:00-11:30 試験時間90分] 配付された資料(和文・英文の文章や図表等)をもとに記述式の試験を行います。資料を正確に分析・理解し、それをもとに表現する力を審査します。
自己表現力審査	面接方式で、志望理由書、活動報告書および活動歴に関する資料など、提出された書類の内容を中心に面接を行います。勉強に対する意欲や適性を判断します。

受験にあたっての注意

総合分析力審査

- 1 受験生は試験開始30分前までに試験場に入り、着席してください。
- 2 試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。
- 3 受験票は常に携帯してください。
- 4 机の上に置くことができる物は、「受験票」「黒鉛筆(HB)」「シャープペンシル(HB黒芯)」「プラスチック消しゴム」「鉛筆削り(電動式は不可)」「時計(計時機能だけのもの)」「眼鏡」「ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)」「無地のハンカチ」「目薬」のみです。
- 5 耳栓の使用は認められません。
- 6 受験に際して、不正行為をしたとみなされた場合は、選考対象から除外されますので、このような行為はしないように注意してください。

討論力審査、自己表現力審査

審査の詳細・注意事項は、一次審査合格者発表の際に郵送でお知らせします。当日は、係員の指示をよく聞いて、それに従ってください。